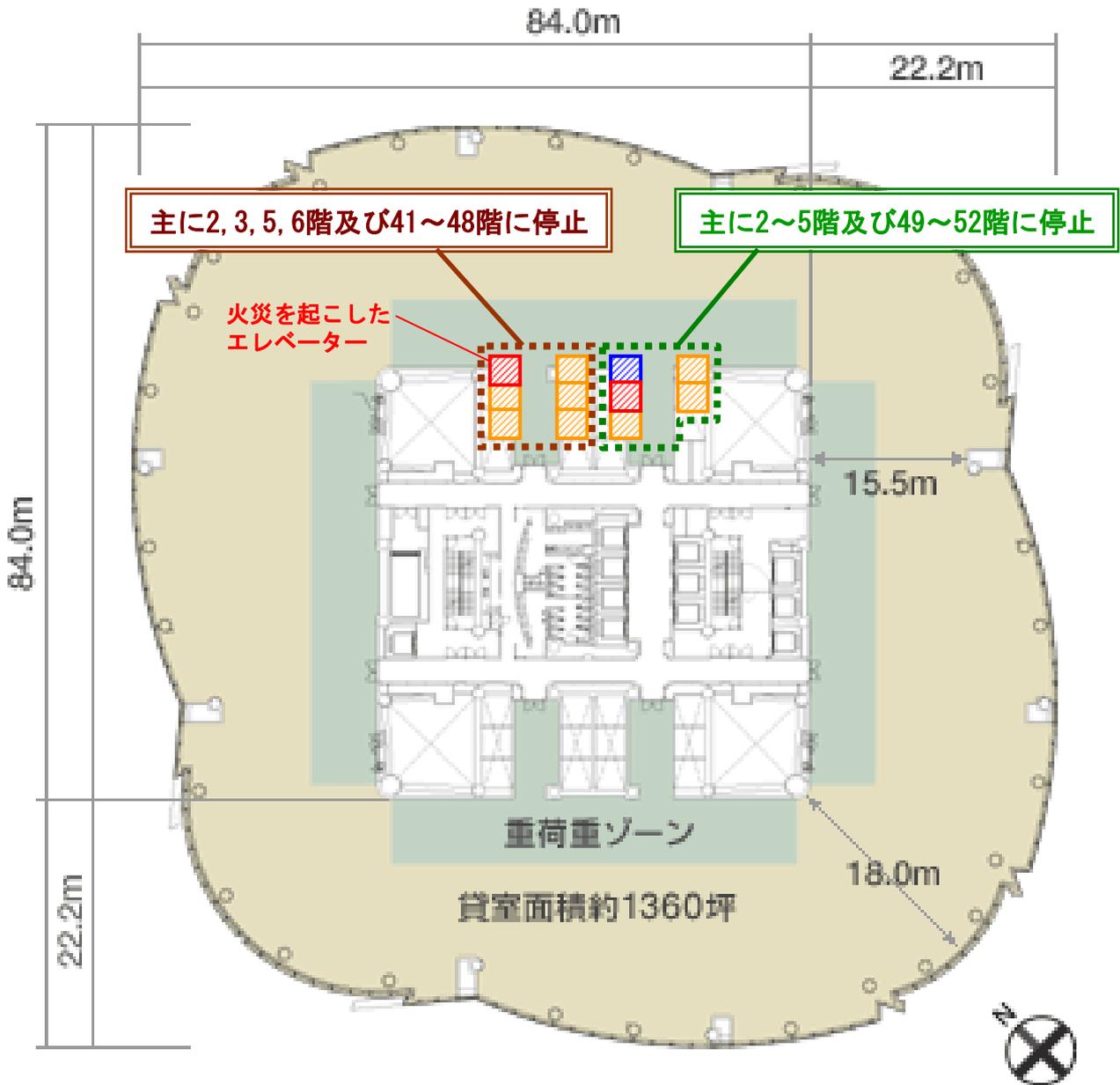


六本木ヒルズ森タワー 基準階平面図



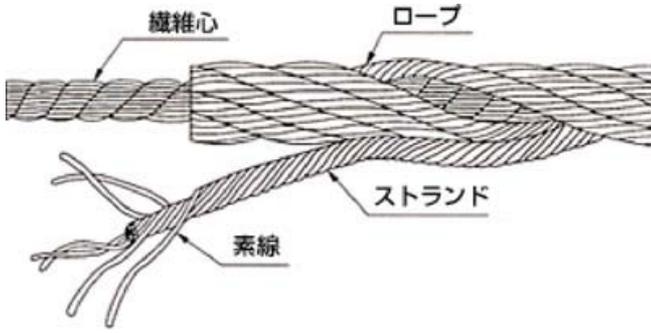
 ロープの交換作業を終え運転再開（4/26現在運転中）

 素線切れにより運転停止

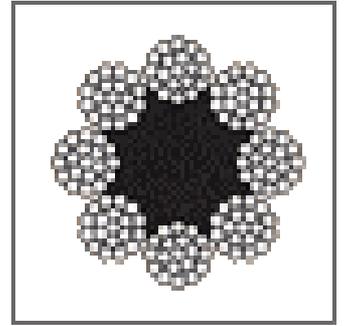
 運転中

※ 火災発生機と同型のエレベーター（かご可動式ダブルデッキエレベーター）は、国内で六本木ヒルズ森タワー内の11機のみ。

ロープ側面

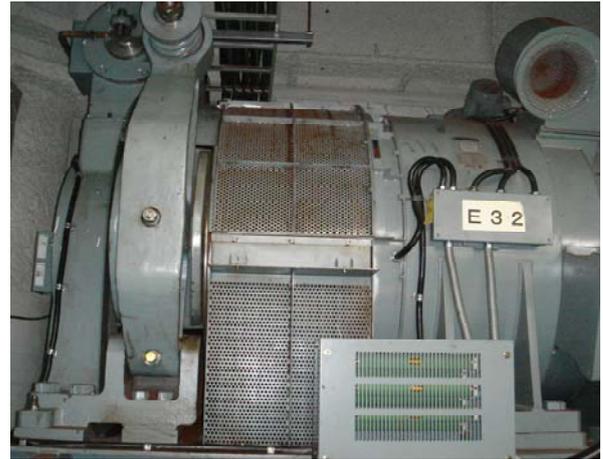


ロープ断面





事故機 (E30号機) (シーブカバー外した状態)



隣接号機 (E32号機)

- ・ ロープ周りは、シーブだけでなく巻上機下方の第二機械室部分もカバーで覆われていてロープが見えない。

事故機、隣接号機ともブロワー内部に吸い込んだ赤錆粉が付着しており、モータ内部にも入っていると思われる。



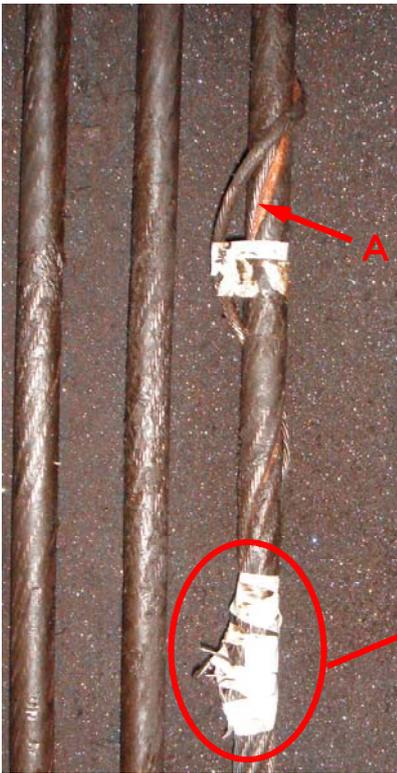
メインシーブ上のロープ (A種ロープ 22.4 φ)

- ・ ロープ摩耗粉の錆、埃、グリス等が固まって棒状になっていて、ロープの縄目が見えない状態になっている。
- ・ 2週間前の定期検査で検査したとは思えない状態。

- ・ ロープカバーを外した状態
- ・ 第二機械室で見上げて撮ったもの

セカンダリシーブ





これより
下方部分

ストランド破断部

- ・ 左端の写真A部のストランド抜け部分は錆の色が新しいのに対し、上の写真ではストランド抜け部分にもグリスが固着しており、事故のかなり前からストランド切れが起きていた可能性がある。



制御盤上面に飛散した赤錆粉



制御盤内部にも赤錆粉が付着